



No.238 2017.5.19

発行所 ちば北部健康友の会

〒263-0016

千葉市稲毛区天台1-19-11

電話・FAX

043-206-0560



鹿久保千枝子

みんなの医療

友の会強化で歴史的前進を

第45回 友の会定期総会

第45回ちば北部健康友の会 社会保障はどうなっていくのか、定期総会が4月22日、健康会館 私たちにできること」と題して二階で、幹事の三船さん司会で 記念講演をして頂きました。岩崎さんは「社会保障はお恵みではない、今こそ憲法に基づいて権利としての社会保障」を国民の中に広げることが、求めら



定期総会后、友の会幹事と職員のみなさん。前列右から二人目より、中村副会長、鈴木友の会県連副会長、木島会長、秋谷所長、石塚副会長、七戸師長。



講演する岩崎勇さん

れている」と強調し、さらに、この間の安倍政権が進めてきた医療・介護・年金の制度改革の実態と、今後検討されている中身についても詳しく説明されました。そして、「社会保障分野は需要が増えており、成長産業である。問題は、憲法25条に立脚した『生存権を保障する』産業に出来るかどうかにある。そのためには、そこで働く労働者の雇用条件の改善、政府の財政投入を含めた抜本的な改善が求められている」と。

と好評でした。総会は、幹事の麻生さん、診療所職員の岡元さんの議長で進められ、初めに木島会長が「北部診療所建てかえに貢献し、友の会の役割にふさわしく名称を改め、介護予防の健康体操に取り組んできた力で、新年度は健康体操など多彩な活動のなかで働き手をふやし、友の会の拡大強化でも歴史的前進を勝ちとろう」とあいさつ。秋谷所長は「新診療所を開設して二年、黒字になっている。友の会と一体となった運動無くして、診療所は成り立たない。引き続き協力をお願いします」とあいさつ。千葉県健康友の会連合会から鈴木春夫副会長からあいさつをいただきました。

全員一致で承認
第1号議案(2016年度活動のまとめ)、第2号議案(2017年度活動方針)、第3号議案(2016年度決算)、第4号議案(2017年度予算)について宮島事務局長が提案しました。討論では、中村副会長、幹事の大岡さんが健康体操の取組みについて、同じく幹事の三船さんが保健部会の取組みについて発言されました。総会では提案された6議案のすべてが反対、保留もなく全員一致で承認されました。総会は、幹事の小川さんの閉会のことばで、とどこおりなく終了しました。(麻生定雄)

くるしお
「交通権」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。30年前、私は『交通権の思想』(日比野正巳 講談社 1985)を読んで勉強したことがあります。国鉄の分割・民営化の害悪を理論的にも実践的にも検証した本です。「交通権」とは「国民が「誰でも、いつでも、どこへでも安全で安く移動できる」権利」です▼「ローカル線はなくなりません」といつて国民をだまして30年。採算が取れないからといって次々に廃線が進められてきました。鉄道だけではなくバス路線も同じ運命でした。民営化・規制緩和・経済効率一辺倒の嵐が政治のどの分野でも吹き荒れて今の日本があります▼車社会は便利です。しかし子ども、身障者、高齢者は運転できません。家族などの都合に合わせなければ移動できません。その逆で家族も自由にできるはずの時間が制約されます。公共交通網が人の移動に不自由がないように充実されている必要があるのです▼「車の都合がなくなると、都合の良いバスがないのでタクシー代が大変です」こうした患者さんの訴えを聴くたびに大元にある「交通権」に思いを廻らせ、その保障をするためにこそ税金をしっかりと使う政治をと思います。

ちば北部健康友の会 第45回定期総会 活動方針

2016年度の活動のまとめ

第1章 1年間の活動をふりかえって

(1) 昨年の定期総会で私たちは、友の会の名称から診療所名をはずし、「ちば北部健康友の会」と改めました。これによつて友の会が稲毛区を中心とする千葉市北部地域全体に責任を負い、健康を守ることを目的とする民主団体であることを明確にし、その活動を広げる条件を整えました。

友の会と診療所との提携関係を深めることにより、診療所と友の会の双方の活動にとつてプラスの要因を生んでいます。

同時に、友の会事務所を千葉勤医協のご厚意により拡張することができ、友の会の活動拠点をより充実することとなりました。

(2) 介護予防の健康体操会を8ブロック中4ブロックで開催するに至りました。会員と住民のみなさんの健康志向にこたえて、これまでになく地域に根ざした継続的な活動を展開するとともに、千葉市と連携して住民本位の無差別・平等の地域包括ケアをつくりあげる重要な一歩を踏み出しました。

友の会と診療所との提携関係を深めることにより、診療所と友の会の双方の活動にとつてプラスの要因を生んでいます。

同時に、友の会事務所を千葉勤医協のご厚意により拡張することができ、友の会の活動拠点をより充実することとなりました。

第2章 各分野の取り組み

(1) 健康づくり

1 健康体操会は4ブロック・4会場に広がり、参加人数(頭数)は96人に達しました(3月末現在)。歩こう会を2回(11月千葉城、3月千葉ポートタワー)実施しました。食事会はほぼ毎月行い、延べ146人が参加しました。

よう、会員への働きかけを始めました。

3 健康づくりの指導者養成のため、千葉市のシニアリーダー講座、ヘルスサポーター養成教室、健康教室などを活用しました。

1 無差別・平等の地域包括ケアをめざし、介護予防の健康体操、認知症対策などで千葉市あらしんケアセンターとの相談、連携に取り組みしました。

2 青空健康チェックを千草台団地で2回行いました。(延べ65人参加)。健康診断を受ける

2 中学校区、小学校区及び町内自治会ごとに、まちの成り立ち、特徴を調べ、それに対応する活動のあり方を検討しました。

(3) 社会保障を守る取り組み

1 平和社保部会では、社会保障問題の学習に系統的に取り組みしました。

2 社会保障改悪に反対する署名活動に取り組みました。

3 第30回日本高齢者大会に代表5名を派遣しました。

(4) 平和・憲法を守る取り組み

1 天台・轟・作草部・千草台にまたがる網の目平和行進に、地域の民主団体とも共同して取り組み、また、戦争体験を語り合い、平和を誓い合う平和カフェを実施しました。

(5) 親睦と交流

1 第38回納涼盆踊り大会は、北部診療所建てかえ1周年、友の会の名称変更しての節目の催しとして、悪天候に負けずに成功させました。

2 バス旅行は、春にはビール工場と筑波宇宙センターを訪ね、味とロケット見学と好評でした。秋には、猿島と横浜中華街に向かいましたが、最近になく大型バスが満席となる盛況でした。

3 新春のつどいは、友の会と職員との一体感ある盛り上がりを見せ、参加者を元気づけました。

4 囲碁将棋、卓球、絵手紙、俳句、いつでも元気な会などのサークル活動が取り組まれています。

(6) 機関紙活動

1 会の機関紙「みんなの医療」では、定期総会と三大行事の内容を紹介したのを始め、介護予防問題での富田課長の説明と健康体操の取り組みを詳しくお知らせし、また、子どもの診療所探検といったトピックも取り上げました。厳選した写真を多く採用し、読みやすい紙面づくりに努めました。とくに民医連機関誌の巻頭を飾った北部診療所紹介の写真・記事を転載する特集を組みました。

2 しかし、一部の担当者に過重負担がかかっている状態は、早期に改善することが求められます。

(7) 友の会を強く大きく

1 会員拡大につとめました。新入会員よりも退会者が多いと

1 この1年間、介護予防の健康体操会を園生に続いて天台、千草台、椿森と4ブロックで開催されるようになりました。3月までに園生16回、天台6回、千草台7回、椿森5回と継続されており、この活動のなかで、体操会Ⅱ友の会活動に熱心に協力する活動家が生まれてきているのが大きな特徴です。

そのほか、天台でゴキブリ退治のホウ酸団子づくり教室、轟班の健康カフェ、椿森班のころばない体操講習がおこなわれるなど、地域での要求にこたえた

3 「みんなの医療」の手配りが、千草台ブロックでは全会員に行き渡っており、天台ブロックと椿森・東千葉地域ではほぼ全会員に及んでいます。また、千草台、園生両ブロックでは幹

第3章 ブロック・班の活動

活動が、取り组まれました。

2 とくに園生では、体操会に参加している人たちの健康状態を継続的にチェックし、あんしんケアセンターと協力して認知症初期症状が疑われる人への家庭訪問をおこなうなど、介護予防の具体的な取り組みが進み始めています。

3 「みんなの医療」の手配りが、千草台ブロックでは全会員に行き渡っており、天台ブロックと椿森・東千葉地域ではほぼ全会員に及んでいます。また、千草台、園生両ブロックでは幹

いう事態が続いています。せっかく入会したのに、そのご会とも会員とも親しく接することなく、会に入つてよかつたと感じられないといった活動のあり方は、根本的に是正するよう真剣に取り組む必要があります。

2 会費納入の特別の取り組みを試みました。

3 友の会のいろいろな活動、とくに健康体操会を通じて友の会の働き手が育つてきていることは、貴重な前進の兆しです。

(8) 民医連の医療機関との協力共同

1 北部診療所管理会と友の会四役との定期的な協議が重ねられ、双方に好い収穫をもたらしています。

2 診療所待合室に友の会コーナーを常設し、役立てています。

2017年度 活動方針

スローガン

北部診療所とともに、健康づくりと安心して住み続けられるまちづくりをすすめてよう。すべての会員の力を集め、仲間を広げてゆく強く大きな友の会をつくろう。

第1章 情勢の特徴

(1) 安倍政権は安保法制Ⅱ戦争法を強行成立させましたが、これは立憲主義を破壊する暴挙でした。また、現代版治安維持法ともいべき「共謀罪」策動など、国家権力が憲法を無視して暴走していることはきわめて危険です。

選挙では争点を隠し、選挙が終われば国民をだまし討ちにするなどとても許せません。

これに対してオール沖縄のたたかい、昨年の参院選での野党統一候補の勝利などに示されたように、野党と市民が力をあわせれば新しい日本を切り開くことができます。

(2) 安倍政権の経済政策「アベノミクス」によって、格差と貧困が一層拡大し、社会と経済

事をでない会員さんも含めてそれぞれ7名が手配りに参加しています。これも地域に根ざす友の会活

動を支える重要な働き手が結集されている姿です。また職員の参加が大きな力となつていま

に介護事業を自治体と家庭に押しつける「地域包括ケアシステム」構築を推し進めています。これは広範な国民との矛盾を激

化させずにはおかないでしよう。

(3) 千葉市では団塊の世代がすべて75歳を迎える2025年

までを展望して地域包括ケアシステムの構築・強化を図ることに重点を置いた「高齢者保健福祉推進計画」を策定しました。

その実施にあたっては、一方で介護予防の「シニアリーダー

活動」(高齢者向けの健康体操)の普及に力を入れながら、他方では政府の示す基準にもとづいて要介護認定の切り下げを強化

するといった矛盾が鋭く表面化しています。

住民本位の無差別・平等の地域包括ケアをつくりあげること

を旨とし、自治体と協力共同して医療・介護・保健の要求にもとづく市民運動を展開していく

上で、民医連・健康友の会の果たすべき役割は重要さを増しています。

(1) 無差別・平等の地域包括ケアをめざし、千葉市と連携して介護予防の健康体操の普及に集中的に取り組みます。半径500メートルをエリアとする健康体操会を、全小学校区ごとに開催

することをめざします。

(2) 健康体操を指導あるいは援助する活動家を幹事および会員の中に多数つくりあげること。同時に健康体操会のなかで積極的に協力する働き手を多数つくりあげ、友の会の幹部層を豊かにします。

第2章 今年度の重点課題

活動をすべての地域にくり広げ、会員と会の絆をつよめます。その成果を友の会の活動に生かします。

(2) 住みよいまちづくり

1 健康体操をはじめとする友の会の地域活動を大いに広め、それらの活動をつうじて知り合った会員、地域の人びとの健康状態に即して、健診、検査、診察をすすめるようにします。

(3) 社会保険を守る取り組み

1 社会保険の理念、制度、実態、その改善の問題などの学習をします。

2 政府により社会保障制度の改善、それに対する民医連の方針を機敏にとらえ、機関紙、班会などを通じて会員に伝えます。

3 社会保障の改善に反対し、改善を求める活動に取り組みます。

(4) 平和・憲法を守る取り組み

1 憲法を学習し、立憲主義の立場とともに生活と社会運動に憲法の趣旨を貫く意識を高めます。同時に戦争に反対して平和を守る意識を高めます。

2 原水爆禁止世界大会など反核平和の集会、行事に参加します。恒例の網の目平和行進と、反戦平和を語り合う平和カフェに取り組みます。

(5) 親睦と交流

1 友の会の三大行事である①春・秋のバス旅行

②健康納涼盆踊り大会

③新春のついで

を成功させます。それぞれの内容、運営に改善を加え、より多くの参加を得て、友の会と北部診療所の存在意義を広める機会とします。

2 友の会のあらゆる行事・活動がより楽しく親しめるものにし、より多くの会員が参加する

第3章 各分野の活動

(1) 健康づくり

1 幹事・活動家が居住し、会

4 地域の町内自治会、団地自治会や、老人クラブなどとの連携を重視します。

2 友の会のあらゆる行事・活動がより楽しく親しめるものにし、より多くの会員が参加する

工夫改善します。

3 サークル活動に取り組みます。

(6) 機関紙活動

1 会の機関紙「みんなの医療」の紙面をより改善し、会の活動状態を生き生きと伝え、会員と会を結びつける絆としていきます。

2 機関紙の手配り者を増やし、一人あたりの持ち部数をより少なくし、手配り者と会員との人間的接触・話し合いの機会を増やします。手配り者の慰労・交流の集まりを持つようにします。

3 全日本民医連の機関誌「いつでも元気」の普及と活用につとめます。

(7) 友の会を強く大きく

1 幹事の学習の機会を確保するため、幹事会の一定時間をとって継続的な学習をおこなうようにします。

2 あらゆる活動・行動をつうじて繰り返し民医連綱領と友の会の趣旨を具体的に説明し、理解を深めることに心がけます。

3 一人一人の会員を大切に、年間をとおして何らかの活動・行事に参加するよう働きかけ、「みんなの医療」の内容について話し合うなど交流を深めることを会の基本原則とします。

4 会費納入は会員の自覚と協力の証であり、会を財政的に支える大黒柱です。全会員が会費を納入するよう、活動の仕方と体制を改善します。会費を中心に収入をふやし、会の活動をより活性化する費用にあてます。

5 健康体操会などあらゆる活動の中で、友の会の活動に積極的に協力する働き手を育て、幹事と一緒に活動・行事の「役員」になるように促すことは、友の会の組織と活動を継続するために決定的に重要な課題です。

6 会員の拡大にあたっては、「地域の人びとの命と健康を守るため、民医連の診療所などと提携して活動する自主的な大衆団体である」という会の目的・性格をはっきり説明すること、楽しい活動をおして仲間を増やしていくことが重要です。

(8) 民医連・諸団体との協力共同

1 北部診療所管理会と友の会四役との定期的な協議をおこなう、両者に共通する課題について協議し、協力共同の関係を緊密にします。

2 診療所待合室の「友の会コーナー」を活用し、診療所の運営に協力するとともに会員・患者との交流をはかります。

3 デイケアその他、診療所に必要な協力をします。

4 ブロック会議をはじめ、各種行事・活動のなかで友の会と職員との協力を緊密にします。

5 千葉民医連、千葉勤医協の呼びかけにこたえ、出資金の協力をします。

6 年金者組合、千葉土建、民商、新婦人その他地域の民主団体と共通の目標で共同します。

第4章 ブロック、班の活動

(1) 今年度中に、介護予防の健康体操会をほぼ中学校区に対応するすべてのブロックで開催し、さらに小学校区ごとの開催をめざします。そのため、幹事・活動家を中心に比較的会員の多い地域で町内自治会集会場など確保することが先決です。健康体操や介護予防一般に関わる指導者を多数養成することが

ポートタワーへ歩こう会 3/22

岡田 美智子

北部健康友の会歩こう会には、初めての参加です。北診を9時半に、6人で出発。散歩日和です。千葉公園の蓮華亭で一休み。白木蓮がきれいに咲いています。綿打池をあとにモノレールの下をひたすら歩く。「そこを曲つたらポートタワーが見えるよ」と、三船さんが。みんな「どこどこ、あった」。はるか向こうに銀色に輝いて見えるポートタワー。あそこ迄頑張ろう!

中央警察、中央郵便局、県立美術館を左手に見ながら、ポータワーに11時すぎ到着。高さ125メートルの展望台へ。ミニカーのように沢山の車が並んでいます。一番期待した富士山は見えませんでした。五分程歩いてお食事へ。高さ

急務であり、千葉市の各種講座などを積極的に活用します。

(2) ブロック、または班の主催で地域の人びとの要望にこたえた集まりを多彩に開きます。

(3) ブロック会議のメンバーとして、幹事・担当職員のほか、地域での活動に積極的に協力している会員も加えるようにします。

俳句

赤い尖塔父母の緊張入園式

艸々子

農道に轍の深く苔

定子

豆飯や仏の妻と語り会ふ

だん児

葱坊主泥縄の日日続きけり

喜久枝

新入生色とりどりのランドセル

秀夫

夜も更けて恋猫たちの二重奏

みちこ

朝の体操見下ろしてをり青葉木菟

大和

屋敷畑切り売りされて豆の花

榎

トロンボーン深き音色や春愁

まちこ

誓くと開花とどめし回十郎

かをる

診療体制

2017年5月～

都合により担当医師が変わることがあります

	月	火	水	木	金	土
午前	秋谷	秋谷	秋谷	秋谷	秋谷	1・3・5 秋谷 2・4 交代
			花井(予約)		糖尿病(予約)	花井(予約)
						胃カメラ
午後	西村	休診		乳児健診 秋谷	休診	休診
往診	山本	高木	秋谷	山本	秋谷	
夜間	秋谷	山本	秋谷	井上	交代	

(月)午後の受付時間は第1～第3、第5週は13:30～16:00。第4週は15:30までとなります。

三月の暖かい日だ

小川 マキ

こころばらく、誕生日祝いの

はがきをお届けしても家族の方

との挨拶で済んでいました。こ

の日はご本人がガラス戸越しに

椅子に座っているのが道路から

見えたので、わたしが手を振る

友の会活動日誌

2・14 天台・千草台ブロック

健康体操会(第5回)

2・18 幹事会

訂正

・3月号1面1段後ろから4行目「さんさん」を「さんさ」に

・同2面5段10行目「帝国軍部」を「帝国軍都」に

2・21 保健講座

2・21 椿森ブロック 健康体

2・21 操会(第4回)

2・28 定期協議(第13回)

3・1 3月号入稿

3・6 千草台班 健康体操会

3・7 四役会議